

平成27年第2回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 河内 賀寿

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 本町を映画やドラマ、CMのロケ地にどうかと宣伝しては	最近流れているソフトバンクのCMは俳優 堺雅人としゃべる白い犬との絶妙な会話を織り交ぜ、光駅、近隣娯楽施設、市役所がロケ地として登場している。普通に考えてもCMの効果で山口県光市という名前は全国に広まったと思われる。映画やドラマ、CMとのコラボで地名の認知度を上げたり、観光客を増やしたりしている自治体はかなりある。TV局側から何か言ってきたら考えるという姿勢でなく、例えば、馬島は2時間サスペンスドラマのロケ地には最適ですよというような積極的な宣伝を本町もしてはどうか。	町長
2. 町民多数参加型地元映画の制作をしては	昨年末、下松市は市制施行75周年記念映画「恋」を制作総指揮 井川成正（下松市長）の名のもと、完成、映画館で公開した。下松が舞台のストーリー公募作品であり、岡田奈々主演、多数市民のエキストラ参加、祭りや工場、店、市役所のロケ、市民が満足する要素が十分なものでした。 現在、本町は合併60周年記念のインタビューや空撮を取り入れたビデオを制作中である。いいものができるのを期待するが、これっきりで終わるのでなく、制作経験を生かし、民間と協力し、下松市のような、町民多数参加型地元映画を数年後制作できるようにはならないか。	町長
3. 太陽光発電システムを平等に公民館設置できないか	県の全額補助で、西田布施公民館（環境センター）だけ太陽光発電システムの設置が決まった。 予算上1ヶ所が限界とのことだ。勿論、1ヶ所でも設備が充実するのはいい事と思うが、もし大災害があり、各公民館など全避難所が町民でいっぱいになるような事が長期に渡れば電気使用において不公平感が起こるのではあるまいか。 対策として、家庭用の一番安価な太陽光発電システムを各公民館に数年に分けてでも平等に設置してはどうか。	町長

質問者2 國永 美恵子

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 核兵器廃絶平和都市宣言について	3月4日の中国新聞に平和首長会議加盟都市から平和メッセージが載っていた。町長はメッセージの中に本町が核兵器廃絶平和都市宣言を行ったことに触れておられる。この都市宣言の看板を再度設置してはいかがか。	町長
2. 国営ほ場整備について	追加による国営ほ場整備が進められている。ほ場整備後の農業に対する展望が見えない。説明会において関係者に納得いく答えになっていないのではないかと思う。展望がないなかで事業を進めてもすぐに荒廃地にならないか。事業後の農地対応を尋ねる。	町長
3. 介護保険について	医療・介護総合法が成立した。介護でいえば多くの高齢者が介護サービスの対象から外れることが指摘されている。 ①特養に入居できない人が全国で52万人と言われている。本町の待機者はどのくらいか。 特養入居が要介護3以上（特例入所はあるが）となると町内の対象者にどう影響するのか。 ②新総合事業では要支援の訪問介護・通所介護を保険給付から外すとされているが影響を受ける人数を問う。その他にも保険給付から	町長

	<p>外れる場合があるか。</p> <p>③8月から利用料の2割負担が導入されようとしているが、どのくらいの人が影響を受けるか。</p> <p>④保険料を払い続けても必要なときに希望する介護が受けられない状況が広がると懸念するが、町長の見解を問う。</p>	
4. 教育委員会制度について	<p>昨年6月に地方教育行政の組織と運営に関する法律が改正され、教育委員会改革が行われた。</p> <p>①新教育長は首長が任命する。教育委員会による教育長への指揮監督権がなくなるがこのことをどの様にお考えか。</p> <p>②首長は総合教育会議を設けるとされている。首長の教育内容への介入が懸念される。また対等平等な協議体としての位置関係が保てるとお考えか。</p> <p>③首長が大綱を策定する権限をもつが政治的中立性は保てるか。</p> <p>④平成26年7月17日の文科省通知では会議の透明化が言われている。どう対応されるのか尋ねる。</p>	教育長

質問者3 木本 睦博

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. ほ場整備について	<p>工事は3年遅れと聞いている。さらに4団地の追加工事もある。負担金は全工事終了後となっている。農家の人達は高齢化が進み焦っている。また、促進事業で中心経営体集積率により助成割合が変わる。</p> <p>①ほ場整備工事終了予定時期</p> <p>②現在及び全工事終了後の予想集積率を尋ねる。</p>	町長
2. 長合駅裏地区の水害について	<p>当地区は大雨のたび床上・床下浸水をし、不安な生活を余儀なくされている。今後の長合駅裏地区の水害対策を尋ねる。</p>	町長
3. 有害鳥獣対策について	<p>有害鳥獣が増えている。国も法改正をし本格的な対策をうちだした。町もこのままでは有害鳥獣は増え続け、防護柵やわな等対策費は増すばかり。そろそろ本腰を入れた取り組みが必要と思う。</p> <p>町長の鳥獣対策を尋ねる。</p>	町長

質問者4 瀬石 公夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 国の地方創生に対する当町の対応について	<p>急減する人口、超高齢化の加速など、疲弊する地方の再生は大きな課題である。</p> <p>地方創生事業では、各市町村や都道府県が自ら改革し、自らアイデアを出していくところがポイントとなっている。こうした事で次の4点について伺う。</p> <p>① 当町の少子高齢化、人口減対策は</p> <p>② 当町における産業活動の活性化による雇用の創出策は</p> <p>③ 国の「地方創生政策」に対し、町総合計画の見直し及びすり合わせは</p> <p>④ 国の「地方創生施策」を活用すべく、現時点での基本的な「田布施町版総合戦略」の概要は、そしてこの事業の企画から国への申請までの取り組み体制と準備は</p> <p>以上、町民が期待を持ち輝く社会づくりの実現のために、地方創生事業の成功は不可欠と思うが、それに向けてどのように取り組まれようとしているのか所見を問う。</p>	町長

2. 公共施設の適正配置について	<p>全国の自治体を取り壊しを検討する公共施設が1万2,251棟になると総務省がまとめている。山口県内では402棟となっており全国で6番目の多さである。</p> <p>本町でも公共施設の取り壊しの計画があるのか。また平成25年9月定例議会で役場庁舎は、旧田布施工業校舎への移転が最適とプロジェクトの答申を受けていると答弁が有った。公共施設の取り壊し、移転、建て替えは住民生活の利便性の問題や慣れ親しんだ施設での活動、町の風景を大事にする事、財政措置など町民生活に直結する問題であり、町民への情報開示と徹底した対話が欠かせない。</p> <p>学識経験者、各種団体の推薦者、町民を対象の公募委員等で「公共施設適正配置及び庁舎建設に関する検討委員会」を立ち上げ、検討委員会の意見を踏まえて、町民への説明、対話による民意の集約は欠かせないと思うが見解を尋ねる。</p>	町長
------------------	---	----

質問者5 藤山 巖

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 逼迫する町財政への対応と自主財源確保への取り組みについて	<p>平成27年度の一般会計の総額は54億6,200万円で対前年度比3.0%の減である。近年の急激な社会保障費の増大で予算規模は年度毎に縮減しており、その影響が行政サービスの低下をもたらし、住民への負担増を招いている。いささかでも健全財政に近づけるには自主財源の確保が急務と思慮するが考えを聞く。</p>	町長
2. ほ場整備後の営農指導と農産品加工など付加価値策について	<p>国営緊急農地再編整備事業で、本町では排水事業等を含め200haの農地が国費では場整備される。整備後は水稻、麦、大豆の作物を中心に農業が営まれるが、現状では国の補助金頼みだ。独自の営農プランと農産品（水稻、麦、大豆）の高付加価値対策を尋ねる。</p>	町長
3. 田布施地域交流館を町の「直営」に見直す考えはないか	<p>地域交流館は設立以来、今年で13年目を迎える。指定管理者制度により町が指定した協同組合田布施地域交流館が、現在管理運営に当たっている。</p> <p>ところが、管理運営をめぐる会員の出荷者との間でトラブルが絶えない。指定を早急に見直して町の直営店とし、6次産業の核施設として拡充強化しながら再起を図る時期に来ていると思うが考えを尋ねる。</p>	町長

質問者6 松田 規久夫

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 田布施町の都市計画（町づくり）	<p>急激に少子高齢化が進んでいる。人口減少社会の到来が予想される。自主財源の乏しい町として、田布施町は単独町政存続のグランドデザインは描けているのか。</p>	町長
2. 小学校等の将来展望について	<p>4月1日に麻里府小が麻郷小に統合となる。田布施町の新生児の数はすでに年間100人前後と減少している。さらなる今後の減少が懸念される。田布施町の小学校在校児童数が全域で、600人未満となるのは遠い先のことではない。小中一貫校の利点が叫ばれ移行している学校もある。コスト、効率などを考慮すれば町内に一校で充分と考えられる。将来に向けての適正な小学校の姿を尋ねる。幼稚園、保育園についても同様に将来展望をお聞きしたい。</p>	町長 教育長

3. 人口増の対策は	地域の活性化は「いかに人を集めるか」と考えている。別の言い方をすれば、人口の増加こそ活性化の早道と言える。そのためには、若者の人口流出に歯止めをかけるか、新規住民の呼び込みが必要である。人口増加に向け、具体的にどのような対策を実施するのか尋ねる。	町長
4. インフラの維持・管理	公園、道路、河川の整備、補修などの作業は今まで各地域のボランティアで行われていたが、少子高齢化により不可能となっている。地域からの要望による維持・管理を将来どのように実施していくのか具体的に尋ねる。	町長

質問者7 石田 修一

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 麻里府小学校閉校後の活用について	平成27年3月で歴史ある麻里府小学校が麻郷小学校に統合され、閉校となる。閉校後も地域の子どもの遊び場や地域の交流の場であり、親子ふれあいの場にするために整備していく考えはあるのか。 学校跡地、跡施設について、どのように考えているのか、町長の見解を問う。	町長
2. 麻郷小学校統合後の児童の環境について	①麻里府小学校の児童は小規模校から中規模校へと環境が大きく変化する。専門のスクールカウンセラーの配置や相談室の設置など児童のケアはどうするのか。 ②バスの運行は朝1便だが、下校時は低学年と高学年とは時間差があると思う。下校時は何便まで用意しているのか。また、麻里府地区に着いてからの防犯パトロール（特に冬場）はされるのか。 ③現在、麻郷小学校の児童クラブは満員と聞く。麻里府小学校の児童の児童クラブの利用はどうするのか。 ④複式学級にはA年次とB年次とがあり、26年度はB年次で現在の1年、3年、5年生に遅れた科目があり、今年度はA年次で調整されると聞くが、その対応はできているか。	町長 教育長
3. 水道事業の安定供給について	昨年の9月議会で田布施平生水道企業団や柳井広域水道事業の問題点について一般質問をしたように山口県下で一番高い水道料金である。この現状では企業誘致は困難である。 ①柳井広域水道企業団の水価引き下げ等、積極的に協議すると答弁されたが、その後について問う。 ②人口減少時代を迎え水道需要は今後減少していくと予想され、さらに効率的な行政運営が必要と考える。柳井広域全体で水道事業のあるべき姿をどのように考えておられるか尋ねる。	町長
4. 地域おこし協力隊について	地域おこし協力隊が現在、馬島、麻里府地域で活躍してまもなく2年目が終了する。地域の活性化対策として有効な手段と考えるが、その成果と課題について問う。 また、引き続きの継続が大切と思うが、3年を終了した後も新たに地域おこし協力隊を募集する予定はあるのか。	町長

質問者8 清神 清

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 防犯カメラ設置について	川崎市川崎区港町の多摩川河川敷で先月20日早朝、中学1年生が死亡しているのが発見された。その後警察の調べで18歳と17歳の少年2人が逮捕された。捜査本部はLINE（ライン）での通信記録や河川敷近くの防犯カメラ映像を解析し、少年らの3人が浮上し、逮捕に至ったと新聞テレビ報道されていた。	町長

	<p>平成24年9月議会でも町の中心に防犯カメラの設置を要望したが、多額の費用がかかることや設置しても事件は減少しないなどで、設置は考えていないとの事でした。</p> <p>しかしながら駅前駐輪場では、自転車盗が後を立たないことから防犯カメラを設置したとの報告を受けました。犯罪が起きたとき犯人逮捕の手がかりになることは必然です。</p> <p>①設置後盗まれた件数は何件あるか、それらは解析しているか ②今後他の場所にも設置の計画はあるか</p>	
2. 町道友石線拡幅について	<p>平成15年12月議会に当時の田布施西小学校PTA会長他2001名の署名を集め、地元議員3名の署名と共に議会に提出され、通学路の拡張は合併特例債にて実施することで話が進んでいたが、合併が実現できず、6年間、危険なまま放置されていた。</p> <p>平成22年9月議会で工事の早期着工をと一般質問を致しました。</p> <p>やっと工事の着工が平成25年度に80m、平成26年度は35mを現在工事中です。</p> <p>全長がわずか450mしかありません、工事のたびに昼間は全面通行止めされ、生活に不便をかけています。</p> <p>このまま少しずつ工事をしたのでは完成まで5～6年もかかります。工事の完成予定は何年後か。ここは危険な通学路です。1日も早く児童の安全を確保するため工事の早期完成をお願いします。</p>	町長
3. 火災報知器設置義務について	<p>例年冬場に住宅火災が多く発生している。住宅用火災報知器の設置義務化が新築住宅では全国一律で平成18年6月1日より義務化されています。既存住宅では市町村条例の規定により平成23年6月1日までに順次設置が求められています。</p> <p>就寝中火災に遭遇することで発見が遅れ、逃げ遅れることが原因で犠牲者が発生するケースが増加の一途をたどっています。</p> <p>そのため、就寝に使用する部屋に火災報知器の設置を義務付けることにより、住宅火災による犠牲者を減らし、人命と財産を守ることを目的としています。</p> <p>光市消防本部では寝室と階段は義務化され、台所は設置が推奨されています。</p> <p>①田布施町では設置の実態は調査把握しているか。設置は何%か ②調査していない場合、今後調査する計画はあるか。</p>	町長

質問者9 西本 篤史

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 危険空き家 町の対応は	<p>町内で空き家を多く目にする。中でも崩壊して隣接している住宅に被害を与える空き家もある。荒廃して危険な空き家の撤去を促すため、政府は住宅が建つ土地を見直す検討に入った。2014年11月に成立した「空き家対策特別措置法」にもとづいて危険な空き家（特定空き家）に指定されれば、優遇の対象から外れることになり、市町村の立ち入り調査や特定空き家に対する指導・勧告・命令・代執行・過料ができ、あわせて、持ち主が自主的に更地にした場合には、一定期間、「固定資産税を軽減する措置」（住宅用地特例）を続けることも検討するとしている。</p> <p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内に特定空き家は何軒あるか ・持ち主が自主的に解体するとき補助金はあるのか ・固定資産税の軽減はどれ位か、一定期間はどれだけか ・指導・勧告・命令・代執行をして取り壊す場合費用は誰が出すのか 	町長

2. 猿対策補助金を出してはどうか	<p>農作物を荒らす害獣対策として農地に据え付けた防護柵や電気柵をよく目にする。イノシシには効果があるが猿には効果がない。猿対策としては背の高い柵か、農地全体を覆うネットが有効である。個人で設置するには負担が大きいいため、町からの補助金を出してはどうか。</p>	町長
3. ネット依存症対策をしてはどうか	<p>今やSNS（ソーシャルネットワークシステム）は手放せない物となっている。しかし、厚生省の調査結果によるとネット依存症が中高生52万人である。女子高生はスマホを1日7時間使っている報告もある。既に「スマホ中毒」である。当然、健康面や学力にも影響がある。ラインによるネットいじめも発生する。</p> <p>他県の教育委員会では対策に乗り出している。北海道教育委員会は、毎月第1・第3日曜を「ノーゲームデー」に指定。兵庫県多可郡多可町教育委員会は、町内の小中学生を対象に、「LINE」「カカオトーク」などSNSの利用を午後9時以降は控えるよう呼びかける運動「夜9時以降やりません運動」を行っている。</p> <p>田布施町教育委員会も実態調査を行い、対策をしてはどうか。</p> <p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別使用状況及び使用時間 ・ネットなどによるいじめの件数 ・教育委員会との合同対策 	教育長